

統合物質創製化学推進事業 第3回若手研究会



開催日：2012年7月23日（月）～24日（火）

会場：琵琶湖リゾートクラブ

主催：統合物質創製化学推進事業（文部科学省特別経費）

講演プログラム

平成24年7月23日(月)

14:00-14:30 参加登録

14:30-14:35 開会の挨拶(オブザーバー:小澤文幸教授)

研究発表

座長 吾郷友宏(京都大学)

14:35-14:55 吉田弘幸(京都大学)

「有機半導体の空準位と電子親和力の精密測定法の開発」

14:55-15:15 福島 貴(名古屋大学)

「外部刺激に応答した球状タンパク質フェリチンの構造制御」

15:15-15:35 Nicholas F. Dummer(北海道大学)

「Incorporation of bismuth in orthorhombic Mo_3VO_x catalysts under hydrothermal conditions」

15:35-15:55 上野 聡(九州大学)

「アルキルケトンの触媒的逐次脱水素化を経るアルキル鎖上での選択的結合形成」

15:55-16:10 休憩

座長 蒲池高志(九州大学)

16:10-16:30 寺田玲季(名古屋大学)

「三座チオラート配位子を有する[4Fe-4S]クラスター」

16:30-16:50 菅又 功(京都大学)

「かさ高い置換基を有するテルレニルカチオン種の発生と反応」

16:50-17:10 荒江祥永 (北海道大学)

「不斉閉環メタセシス反応を利用した面不斉遷移金属錯体の
触媒的不斉合成法の開発」

17:10-17:30 川上了史 (名古屋大学)

「簡便なヘムタンパク質の再構成方法」

17:30-17:45 休憩

招待講演

座長 脇岡正幸 (京都大学)

17:45-18:30 藤田健一 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

「触媒的水素移動反応ならびに脱水素化反応を基軸とする分子変換」

19:00-20:30 夕食

21:00-23:00 研究交流会

平成24年7月24日(火)

招待講演

座長 村田理尚(京都大学)

8:30—9:15 陰山 洋(京都大学大学院工学研究科)
「遷移金属酸水素化物」

研究発表

座長 田中慎二(名古屋大学)

9:15—9:35 中島裕美子(京都大学)
「低配位リン配位子(BPEP)を有する鉄錯体の合成、構造および反応」

9:35—9:55 濱崎昭行(九州大学)
「ニッケル担持金ナノ粒子を用いたヨウ化アリーの
アルコキシカルボニル化およびアミノカルボニル化反応」

9:55—10:15 河野慎一郎(名古屋大学)
「ソフトなナノ化学空間を目指す液晶性大環状化合物の合成と
その組織化」

10:15—10:35 清水研一(北海道大学)
「酸化セリウムを触媒としたニトリル・アミドの変換反応」

10:35—10:50 休憩

座長 高瀬舞(北海道大学)

10:50—11:10 越山友美(九州大学)
「リポソームへの金属錯体組込みによる新規触媒場の構築」

11:10-11:30 宮崎総司 (名古屋大学)

「アゾベンゼン修飾アズリンの光と熱による酸化還元電位の動的制御」

11:30-11:50 村山 徹 (北海道大学)

「水熱合成法を用いた結晶性酸化物触媒の調製と酸触媒活性」

11:50-12:10 Richard Murdey (京都大学)

「Electrode Dependence of the Photoconductivity of Pentacene Thin Films」

12:10-12:15 総括 (オブザーバー: 小澤文幸教授)

12:15-12:30 写真撮影後に解散